

令和8年度入学試験問題

受験上の注意

1. 監督の指示により、解答用紙に受験番号（算用数字）、氏名、フリガナ、解答する科目を記入し、受験番号、該当する試験日、解答する科目をマークしてください。記入については解答用紙の注意事項に従ってください。
2. 問題冊子と解答用紙の解答番号を間違えないように注意してください。
3. 各科目のページは、次のとおりです。試験開始の合図があったら、まず受験する科目のページ数を確認してください。

科目	ページ
日本史	2～10
世界史	12～28
地理	32～48
公民	50～68
国語	72～87

4. 試験時間中は、受験票を机上の受験番号の下に呈示しておいてください。
5. 質問、その他用件があるときは、手を挙げて合図してください。
6. 試験時間中の退室は認めません。
7. 試験時間は地理歴史・公民と国語で80分です。
8. この問題冊子は持ち帰ってください。

開始の合図があるまで開かないでください

地 理

〔 I 〕 図1は国土地理院発行の2万5千分の1地形図「高槻」(2019年発行、原寸、一部改変)である。この地形図を見て、以下の問1～問5に答えなさい。解答番号は 51 ～ 59 。

ただし、判断根拠は図から読み取れることに限定する。

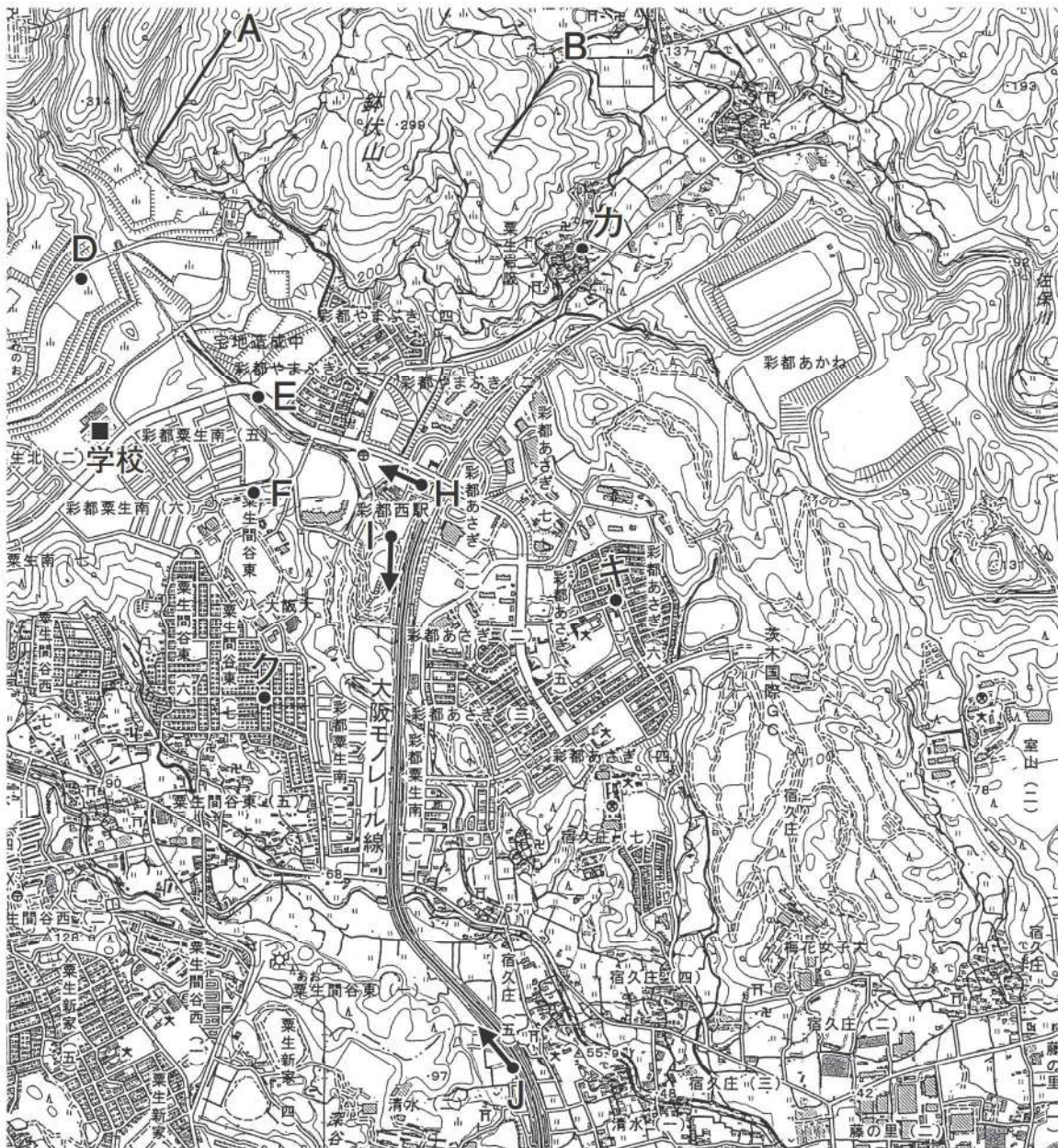


図1

(国土地理院発行2万5千分の1地形図「高槻」(2019年発行))

問1 図1中の線分Aと線分Bと、尾根と谷の組み合わせとして、もっとも適切なものを①～④から1つ選び、マークしなさい。 **51**

	①	②	③	④
A	尾根	尾根	谷	谷
B	尾根	谷	尾根	谷

問2 図1中の鉢伏山^{はちぶせ}の西部にみられる複数の「せき」について、地形や土地利用の特徴から推測される主な用途としてもっとも適切なものを①～④から1つ選び、マークしなさい。 **52**

- ① 砂防 ② 農業用水 ③ 発電 ④ 分水

問3 図1中の■で示した学校から地点D～Fの直線距離はいずれも等しい。この学校から地点D～Fへ徒歩で移動する場合、移動距離が短いものから長いものの順として、もっとも適切なものを①～⑥から1つ選び、マークしなさい。なお、徒歩移動の経路は道路に限定する。 **53**

①	D → E → F
②	D → F → E
③	E → D → F
④	E → F → D
⑤	F → D → E
⑥	F → E → D

問4 次の写真ア～ウは図1中の地点H～Jのいずれかの地点から矢印の方向に向かって撮影したものである。地点H～Jと写真ア～ウの組み合わせとして、もっとも適切なものを①～⑥から1つ選び、マークしなさい。 54



ア



イ



ウ

	①	②	③	④	⑤	⑥
H	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
I	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
J	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問5 図2は図1と同じ範囲の国土地理院発行の2万5千分の1地形図「高槻」(1984年発行、原寸、一部改変)である。図2と図1を見て、以下のAとBの間に答えなさい。



図2

(国土地理院発行2万5千分の1地形図「高槻」(1984年発行))

A. 図1中の地点カ～クのうち、集落（市街地を含む）となった時期の古いものから新しいものの順として、図2を手がかりにして、もっとも適切なものを①～⑥から1つ選び、マークしなさい。 **55**

①	カ → キ → ク
②	カ → ク → キ
③	キ → カ → ク
④	キ → ク → カ
⑤	ク → カ → キ
⑥	ク → キ → カ

B. 次の文章は図1と図2との比較から読み取れることである。文章中の空欄 **56** ～ **59** に当てはまるもっとも適切な語句を、現代日本で生じている事象の系統地理的な理解をもとに、下の①～⑬からそれぞれ1つずつ選び、マークしなさい。 **56** **57** **58** **59**

大阪府北部に広がる北摂山地の南麓地域である。大阪府北部の郊外では1960年代に大規模な住宅開発が進み、**56** ニュータウンなどが造成された。図1の範囲はこのニュータウンのさらに北部に位置し、現在も開発が進められている。

図2と比較すると切土・盛土で地形改変によって新たに開発されたことがわかる。図1を見ると、新たに建築された住宅は主に標高 **57** mに造成された。また図1と図2の地図記号を比較すると、学校種として **58** の増加割合がもっとも高い。新たに建築された住宅には **59** の転入が推察される。その他にモノレールも延伸され、大阪府中心部のオフィス街へも1時間以内で通勤できるようになった。

- ① 高等学校 ② 高齢者世代 ③ 子育て世代 ④ 小・中学校 ⑤ 泉北
 ⑥ 千里 ⑦ 大学 ⑧ 多摩 ⑨ 単身世帯
 ⑩ 0～100 ⑪ 100～200 ⑫ 200～300 ⑬ 300～400

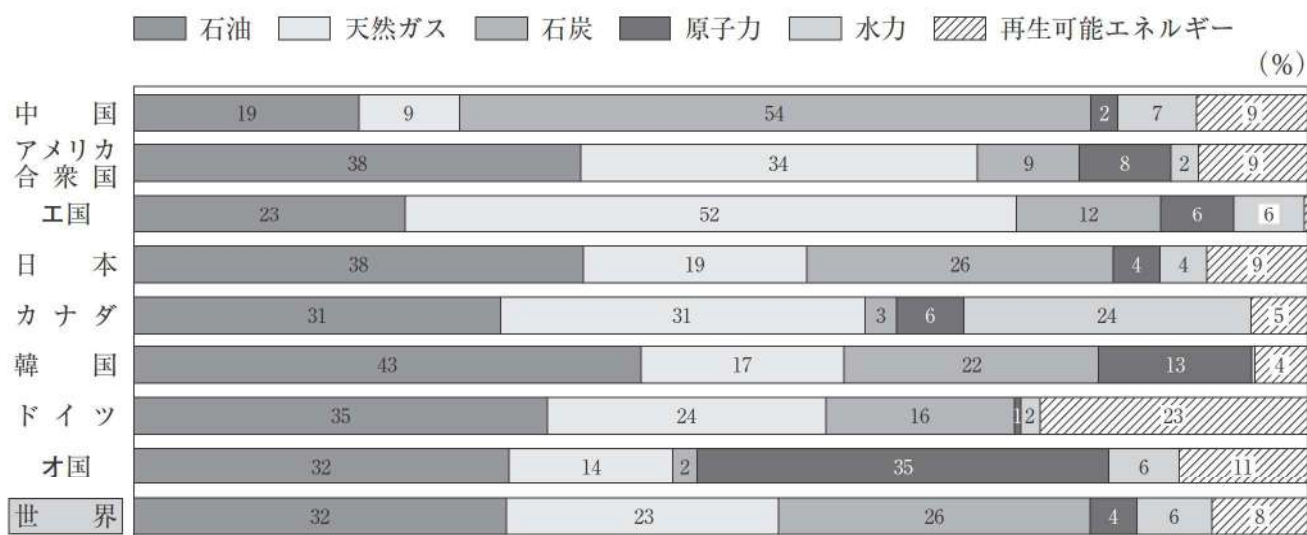
〔Ⅱ〕 エネルギーと鉱産資源について、以下の問1～問4に答えなさい。解答番号は ～

問1 次の文中の空欄ア～ウに入る語句の組み合わせとして正しいものを①～⑥から1つ選び、マークしなさい。

自然界から採取した未加工のエネルギーを意味する1次エネルギーは、石炭などの 燃料、石油などの 燃料、ガス体燃料に分類できる。1次エネルギーを利用できる形に加工・転換した や都市ガスなどは2次エネルギーと呼ばれ、産業や日常生活には欠かせないものとなっている。

	ア	イ	ウ
①	液体	固体	ガソリン
②	固体	液体	地熱
③	液体	固体	風力
④	固体	液体	ガソリン
⑤	液体	固体	地熱
⑥	固体	液体	風力

問2 図1は、2023年の主な国ぐにの1次エネルギー消費量の構成比(%)を表している。図1の工国 **61** とオ国 **62** に該当する国名を①～⑥からそれぞれ1つずつ選び、マークしなさい。



(JAERO (一財) 日本原子力文化財団「エネ百科」により作成)

図1

- ① インド ② オーストラリア ③ フィリピン ④ ブラジル
 ⑤ フランス ⑥ ロシア

問3 1次エネルギーの生産に関する次の文を読み、A～Cの間に答えなさい。

石炭は、現在でも製鉄や火力発電に欠かせない1次エネルギーである。石炭は石油に比べて埋蔵量も多く、a 地域的な偏在性が小さく供給の安定性が高い。また、価格が安定しているのもその特徴である。近年、石炭のガス化や二酸化炭素排出量を減らす技術の開発も進んでいる。

石油は、燃料用だけでなく、プラスチックや合成繊維の原料としても利用されている。世界の埋蔵量の半分はペルシア湾岸を中心とした地域にあるといわれ、その生産は、長く石油メジャーと呼ばれる欧米の国際石油資本に独占されていた。1960年、当時の産油国は、自らの利益を守り、生産量や価格を協議する組織の **イ** を結成した。しかし近年、ロシアや中国など、b その組織に加盟しない国ぐににおける生産量が増加している。

A. 文中の下線部 a に関連して、次の表は1992年と2023年の石炭生産量の上位5か国を示したものである。表中の空欄 **ア** に該当する国名を①～⑥から1つ選び、マークしなさい。 **63**

1992年			2023年		
国名	生産量 (百万t)	構成比 (%)	国名	生産量 (百万t)	構成比 (%)
中国	1,116.5	31.6	中国	4,710.0	51.8
アメリカ合衆国	823.3	23.3	ア	1,010.9	11.1
ア	238.2	6.8	インドネシア	775.2	8.5
ロシア	193.5	5.5	アメリカ合衆国	526.5	5.8
オーストラリア	175.1	5.0	オーストラリア	455.8	5.0
世界全体	3,527.3	100.0	世界全体	9,095.6	100.0

(『世界国勢図会 '95/96』と『日本国勢図会 2025/26』により作成)

- ① インド ② 北朝鮮 ③ ドイツ ④ ベトナム ⑤ ポーランド
⑥ 南アフリカ共和国

B. 文中の空欄 **イ** に該当する組織名を①～⑥から1つ選び、マークしなさい。

64

- ① FAO ② IEA ③ IAEA ④ ILO ⑤ OPEC ⑥ WTO

C. 文中の下線部 **b** に関連して、次の表は1994年と2023年の原油生産量の上位5か国（地域）を示したものである。表中の空欄 **ウ** に該当する国名を①～⑥から1つ選び、マークしなさい。 **65**

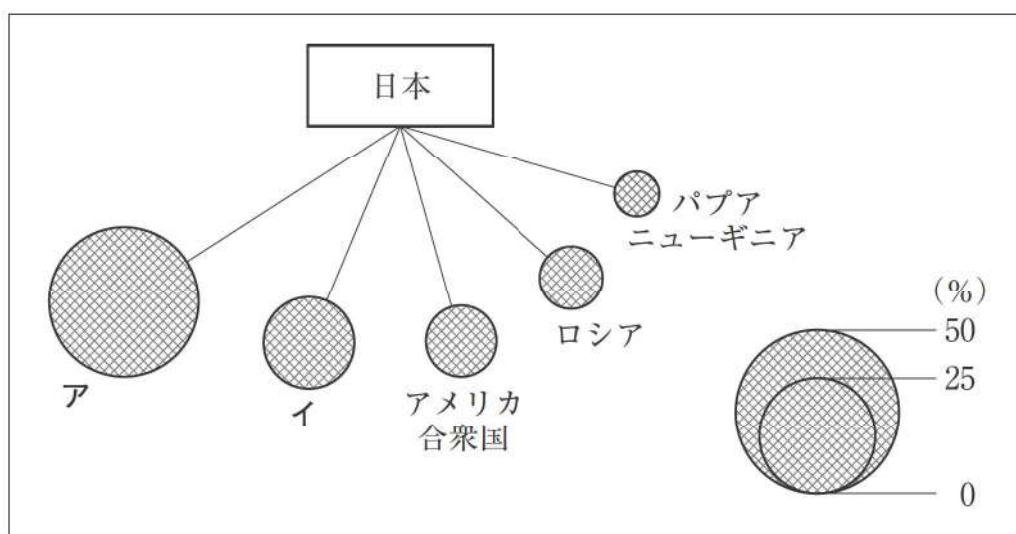
1994年			2023年		
国（地域）名	生産量 (万kL)	構成比 (%)	国名	生産量 (万kL)	構成比 (%)
サウジアラビア	45,371	12.9	ウ	112,345	20.1
独立国家共同体（CIS）	40,569	11.6	サウジアラビア	66,096	11.8
ウ	38,535	11.0	ロシア	64,275	11.5
イラン	20,733	5.9	カナダ	32,805	5.9
中国	17,120	4.9	イラン	27,056	4.8
世界全体	350,599	100.0	世界全体	559,318	100.0

（『世界国勢図会 '95/96』と『日本国勢図会 2025/26』により作成）

- ① アメリカ合衆国 ② インドネシア ③ クウェート ④ ノルウェー
⑤ ブラジル ⑥ ベネズエラ

問4 天然ガスに関連するAとBの間に答えなさい。

A. 日本は、天然ガスについても石炭や原油と同様、その大半を輸入している。図2は、2024年の液化天然ガス（LNG）の輸入先上位5か国を模式的に示したもので、円の面積は構成比（％）に基づいている。図中のA国とI国の組み合わせとして正しいものを①～⑥から1つ選び、マークしなさい。 66



（『日本国勢図会 2025/26』により作成）

図2

	ア国	イ国
①	オーストラリア	マレーシア
②	オーストラリア	ブルネイ
③	ブルネイ	オーストラリア
④	ブルネイ	マレーシア
⑤	マレーシア	ブルネイ
⑥	マレーシア	オーストラリア

B. 天然ガス資源について述べた①～⑤の文について、下線部の内容が誤っているものを1つ選び、マークしなさい。 67

- ① 新しい天然ガスとして期待されるメタンハイドレートは、日本の太平洋側の大陸棚縁辺などに埋蔵が確認されている。
- ② 大規模な輸送手段として、地続きの地域間ではパイプラインを使用する 경우가多く、海に囲まれた地域間の場合は液化して専用のタンカーで輸送する。
- ③ 近年の技術開発により、地下の頁岩層けつがんからシェールガスを採掘できるようになった。採掘のためのコストは低下したが、在来型天然ガス田と比較し埋蔵量は少ない。
- ④ 2023年現在、中国は世界最大の輸入国となっている。
- ⑤ 2023年現在、アメリカ合衆国は世界最大の生産国である。

〔Ⅲ〕 アフリカの国ぐにに関する問1～問3に答えなさい。解答番号は **68** ～
75

問1 アフリカ大陸東部の国ぐにの言語と宗教に関する次の文章を読み、以下のA～Cの間に答えなさい。

アフリカ大陸東部では、ムスリム商人によるインド洋交易が盛んであったため現在でもムスリムが多い。ムスリム商人のなかには、イスラームと結びつきの深い **ア** を話す人びともいた。そのため、**ア** の影響を受けた **イ** がタンザニアやケニアで公用語となっている。また、ジンバブエやザンビアでは **ウ** も公用語に指定されている。また、各地域の祖先崇拜や精霊信仰などの伝統的な信仰とともに、
a 植民地時代の影響もあり b キリスト教が広まっている。

A. 文中の空欄ア～ウに入る言語の組み合わせとしてもっとも適切なものを①～⑥から1つ選び、マークしなさい。 **68**

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	スワヒリ語	スワヒリ語	アラビア語	アラビア語	英語	英語
イ	アラビア語	英語	スワヒリ語	英語	アラビア語	スワヒリ語
ウ	英語	アラビア語	英語	スワヒリ語	スワヒリ語	アラビア語

B. 下線部 a の記述に関して、アフリカ大陸東部の国ぐにの旧宗主国を示す組み合わせとしてもっとも適切なものを①～⑥から1つ選び、マークしなさい。 **69**

	①	②	③	④	⑤	⑥
ケニア	ポルトガル	ポルトガル	フランス	フランス	イギリス	イギリス
マダガスカル	イギリス	フランス	イギリス	ポルトガル	ポルトガル	フランス
モザンビーク	フランス	イギリス	ポルトガル	イギリス	フランス	ポルトガル

C. 下線部 b の記述に関して、表 1 中の X ~ Z はエチオピア（2007年）、ケニア（2009年）、セーシェル（2002年）の、いずれかの宗教構成を示している。表中の国名の組み合わせとしてもっとも適切なものを①~⑥から 1 つ選び、マークしなさい。

70

表 1

(単位：%)

X		Y		Z	
カトリック	82.3	プロテスタント	47.7	正教会	43.5
プロテスタント	6.4	カトリック	23.5	プロテスタント	18.6
ヒन्दゥー教	2.1	イスラーム	11.2	イスラーム	33.9
イスラーム	1.1	伝統的な信仰	1.7	伝統的な信仰	2.7
その他	8.1	その他	15.9	その他	1.3

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版』により作成)

	①	②	③	④	⑤	⑥
X	ケニア	ケニア	セーシェル	セーシェル	エチオピア	エチオピア
Y	セーシェル	エチオピア	ケニア	エチオピア	ケニア	セーシェル
Z	エチオピア	セーシェル	エチオピア	ケニア	セーシェル	ケニア

問2 アフリカ大陸の国ぐにの経済に関する次の文章を読み、以下のA～Cの間に答えなさい。

アフリカ大陸東岸の経済構造は、地理的条件と歴史的背景が密接に関わっている。東アフリカ諸国は金やコバルト、クロムなどの a 金属資源が豊富であり、主に輸出用として採掘・精錬されている。そのため、植民地時代から鉄道網が整備され、近年は中国の支援による新たな鉄道路線も建設されている。 b 鉄道は港湾都市と内陸部を結び、鉱物資源や農産物の輸送を効率化し、物流コストの削減と経済発展に寄与している。一方、 c 多くの国が特定の農産物や鉱産資源など限られた輸出品目に依存しているため、国際価格の変動や需要減少の影響を受けやすい。

A. 下線部 a の記述に関して、図1で示した地図の①～④のうち、主要な銅産出地帯である「銅ベルト」の所在地を示しているものを1つ選び、マークしなさい。

71

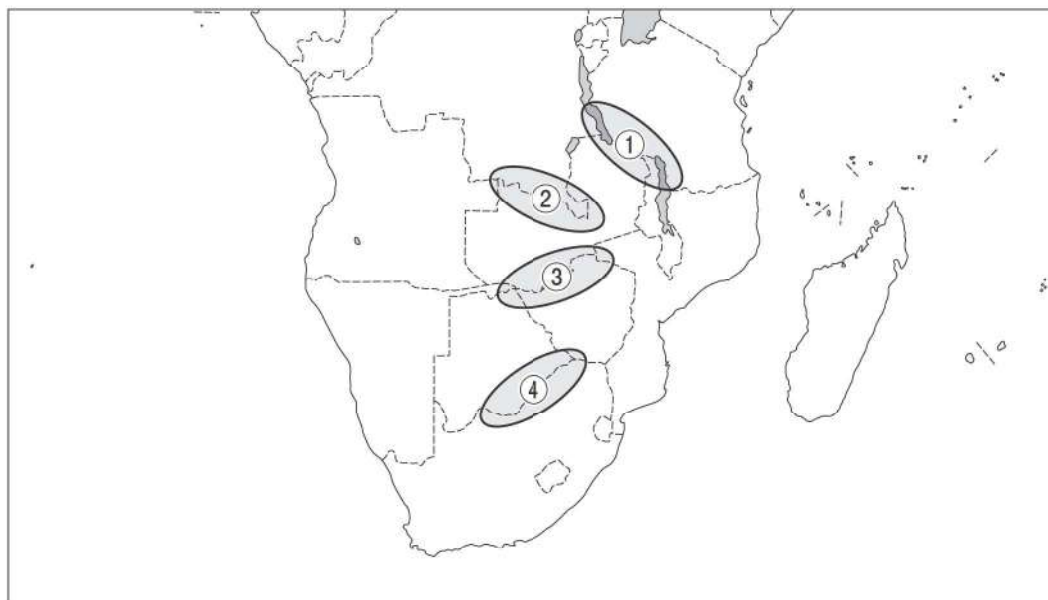


図1

B. 下線部**b**の記述に関して、アフリカ大陸南部の国ぐににおける鉱物輸送に関する次の説明文をみて、下線部イ～ハの正誤の組み合わせとしてもっとも適切なものを①～⑧から1つ選び、マークしなさい。 72

ザンビアなどで産出した_イ非鉄金属資源を輸送するため、タンザニアを經由してアフリカ大陸の東岸にいたる_ロタンザン鉄道が整備されている。また、_ハ石油資源を輸送するため、アンゴラを經由してアフリカ大陸の西岸にまでいたるベンゲラ鉄道が整備されている。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
イ	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
ロ	正	誤	正	誤	正	誤	正	誤
ハ	正	正	誤	誤	正	正	誤	誤

C. 下線部 c の記述に関して、表 2 の X～Z は東アフリカの国ぐに（ケニア（2023 年）、ウガンダ（2021年）、モーリシャス（2023年））の主要輸出品目を示している。X に当てはまる国名と、空欄アに当てはまる品目の組み合わせとしてもっとも適切なものを①～⑥から 1 つ選び、マークしなさい。 **73**

表 2

(単位：%)

X		Y		Z	
金（非貨幣用）	26.0	衣類	18.7	紅茶	18.2
コーヒー豆	18.0	ア	13.8	切り花	9.3
野菜・果実	3.7	砂糖	12.5	野菜・果実	8.4
穀物	3.6	繊維と織物	6.2	石油製品	5.0
鉄鋼	3.1	精密機械	5.0	衣類	4.5

（『データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版』により作成）

	①	②	③	④	⑤	⑥
X	ケニア	ケニア	ウガンダ	ウガンダ	モーリシャス	モーリシャス
ア	カカオ豆	まぐろ・かつお	カカオ豆	まぐろ・かつお	カカオ豆	まぐろ・かつお

問3 アフリカの国ぐにでみられるさまざまな問題に関する以下のAとBの間に答えなさい。

A. アフリカにおける社会や環境に関する問題や変化について説明した次の文のうち、誤っているものを①～④から1つ選び、マークしなさい。 74

- ① 多くの都市では、劣悪な居住環境のスラムが形成されている。
- ② マラリアやHIVなど感染症の拡大が深刻である。
- ③ 経済構造の問題から、対外債務を抱えている国は少ない。
- ④ 情報通信技術の発達が生生活や経済を大きく変化させている。

B. アフリカにおける民族紛争に関する問題や変化について説明した次の文のうち、誤っているものを①～④から1つ選び、マークしなさい。 75

- ① 複数の民族から成り立つ国が多いため、さまざまな民族問題を抱えることがある。
- ② 植民地時代の境界線が国境になったため、同民族が国境によって分割された。
- ③ 国連の平和維持活動（PKO）とアフリカ連合（AU）は、連携して紛争解決に取り組んでいる。
- ④ ヨーロッパの旧宗主国との間では航空路線と鉄道路線が発達している。